

令和7年度 年間授業計画

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	書Ⅱ（光村図書）
	補助教材：	なし

教科（芸術）の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（書道Ⅱ）の目標

【知識及び技能】	書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。☒
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。☒
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。☒

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
		漢仮	漢	仮						
<p>単元 泰山刻石【教科書P12-13】</p> <p>指導項目に対し、次の教材等を活用する。</p>	指導事項									
知識及び技能	指導事項									
<p>臨書を通して、小篆の点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を習得できるようにする。</p>	<p>篆書について、泰山刻石の臨書</p>									
<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>泰山刻石の表現技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。鑑賞を通して「泰山刻石」の書風や特徴を理解し、臨書に生かすことができるようにする。</p>	<p>教材</p> <p>教科書等</p>		○		○		○	○	○	4
<p>学びに向かう力、人間性等</p> <p>篆書の発展について、時代背景や発生 の必然性に関心を持ち、その美を味わうことができるようにする。</p>	<p>一人1台端末の活用場面</p> <p>作品の記録をする</p>									
<p>単元 泰山刻石【教科書P12-13】</p> <p>指導項目に対し、次の教材等を活用する。</p>	指導事項									
知識及び技能	指導事項									
<p>臨書を通して、小篆の点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を習得できるようにする。</p>	<p>篆書について、泰山刻石の臨書</p>									
<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>泰山刻石の表現技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。鑑賞を通して「泰山刻石」の書風や特徴を理解し、臨書に生かすことができるようにする。</p>	<p>教材</p> <p>教科書等</p>		○		○		○	○	○	4
<p>学びに向かう力、人間性等</p> <p>篆書の発展について、時代背景や発生 の必然性に関心を持ち、その美を味わうことができるようにする。</p>	<p>一人1台端末の活用場面</p> <p>作品の記録をする</p>									
<p>単元 篆刻</p> <p>指導項目に対し、次の教材等を活用する。</p>	指導事項									
知識及び技能	指導事項									
<p>本文印の制作手順を理解する。書体や書風、配字による表現の効果を理解して、感興や意図に応じて構想を練ることができるようにする。</p>	<p>篆刻について</p>									
<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>篆刻に関心を持ち、制作に主体的に取り組んでいる。書体や書風、配字による表現の効果を理解して、感興や意図に応じて構想を練ることができるようにする。</p>	<p>教材</p> <p>教科書等</p>		○		○		○	○	○	14
<p>学びに向かう力、人間性等</p> <p>篆刻の技能を習得し、個性的に表現させることができるようにする。</p>	<p>一人1台端末の活用場面</p> <p>作品の記録をする</p>									
<p>単元 乙瑛碑【教科書P20-21】</p> <p>指導項目に対し、次の教材等を活用する。</p>	指導事項									
知識及び技能	指導事項									
<p>漢字の書を作成するさまざまな要素や、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解することができるようにする。</p>	<p>隷書について、乙瑛碑の臨書</p>									
<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫することができるようにする。</p>	<p>教材</p> <p>教科書等</p>		○		○		○	○	○	12
<p>学びに向かう力、人間性等</p> <p>主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組むことができるようにする。</p>	<p>一人1台端末の活用場面</p> <p>作品の記録をする</p>									

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	記号時数
			漢仮	漢	仮						
3 学 期	単元 高野切第一種【教科書P54-57】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	鑑賞・臨書を通して「高野切第一種」の書風の特徴を捉え、連続や墨継ぎなど、書風に即した用筆・運筆を工夫することができるようにする。	仮名・線の復習、高野切第一種の臨書					連続の基本である形遣、意遣を確認した上で高野切第一種を鑑賞し、連続と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができる。連続の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し、書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	連続の基本である形遣、意遣について確認する。「高野切第一種」を鑑賞し、連続と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができるようにする。	教科書等			○	○	連続の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し、書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。	○	○	○	
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	「高野切第二種」「針切」「香紙切」を分析して、古筆の多彩な美を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					古筆の鑑定について興味・関心を深めようとするができる。				
	単元 高野切第一種【教科書P54-57】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	鑑賞・臨書を通して「高野切第一種」の書風の特徴を捉え、連続や墨継ぎなど、書風に即した用筆・運筆を工夫することができるようにする。	仮名・線の復習、高野切第一種の臨書					連続の基本である形遣、意遣を確認した上で高野切第一種を鑑賞し、連続と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができる。連続の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し、書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	連続の基本である形遣、意遣について確認する。「高野切第一種」を鑑賞し、連続と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができるようにする。	教科書等			○	○	連続の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し、書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。	○	○	○	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
「高野切第二種」「針切」「香紙切」を分析して、古筆の多彩な美を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					古筆の鑑定について興味・関心を深めようとすることができる。					
合計											
											70